

OSCE

胃ろうカテーテルもしくは 腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの 交換

岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター
犬飼道雄

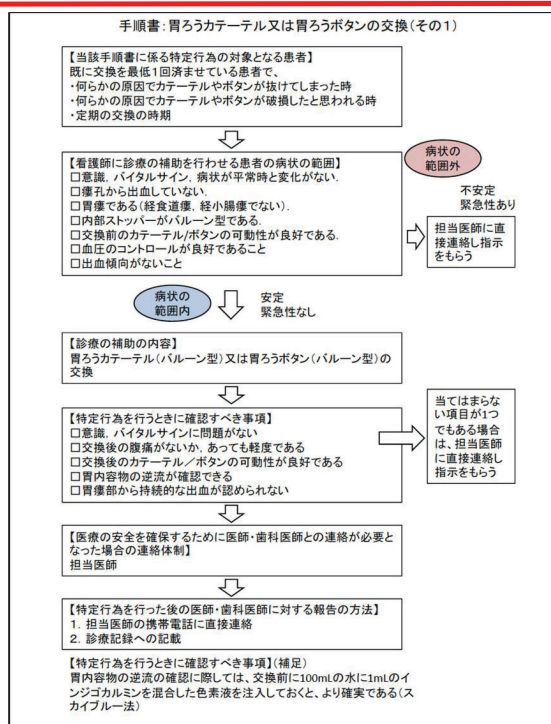
この講義のポイント

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する。
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ。

この講義のポイント

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ

手順書その1を確認



手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換（その1）

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で

- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
- ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
- ☐ 瘻孔から出血していない。
- ☐ 胃瘻である（経食道瘻、経小腸瘻でない）。
- ☐ 内部ストッパーがバルーン型である。
- ☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
- ☐ 血圧のコントロールが良好であること
- ☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換（その1）

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で、

- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
- ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
- ☐ 瘻孔から出血していない。
- ☐ 胃瘻である（経食道瘻、経小腸瘻でない）。
- ☐ 内部ストッパーがバルーン型である。
- ☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
- ☐ 血圧のコントロールが良好であること
- ☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

- 既に交換を最低1回済ませている患者で、
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
 - ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
 - ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
- ☐ 瘻孔から出血していない。
- ☐ 胃瘻である(経食道瘻、経小腸瘻でない)。
- ☐ 内部ストッパーがバルーン型である。
- ☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
- ☐ 血圧のコントロールが良好であること
- ☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

手順書その1を確認

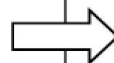
【診療の補助の内容】

胃ろうカテーテル(バルーン型)又は胃ろうボタン(バルーン型)の
交換



【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ 意識、バイタルサインに問題がない
- ☐ 交換後の腹痛がないか、あっても軽度である
- ☐ 交換後のカテーテル/ボタンの可動性が良好である
- ☐ 胃内容物の逆流が確認できる
- ☐ 胃瘻部から持続的な出血が認められない



当てはまらない
項目が1つ
でもある場合
は、担当医師
に直接連絡し
指示をもらう



【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要と
なった場合の連絡体制】

担当医師

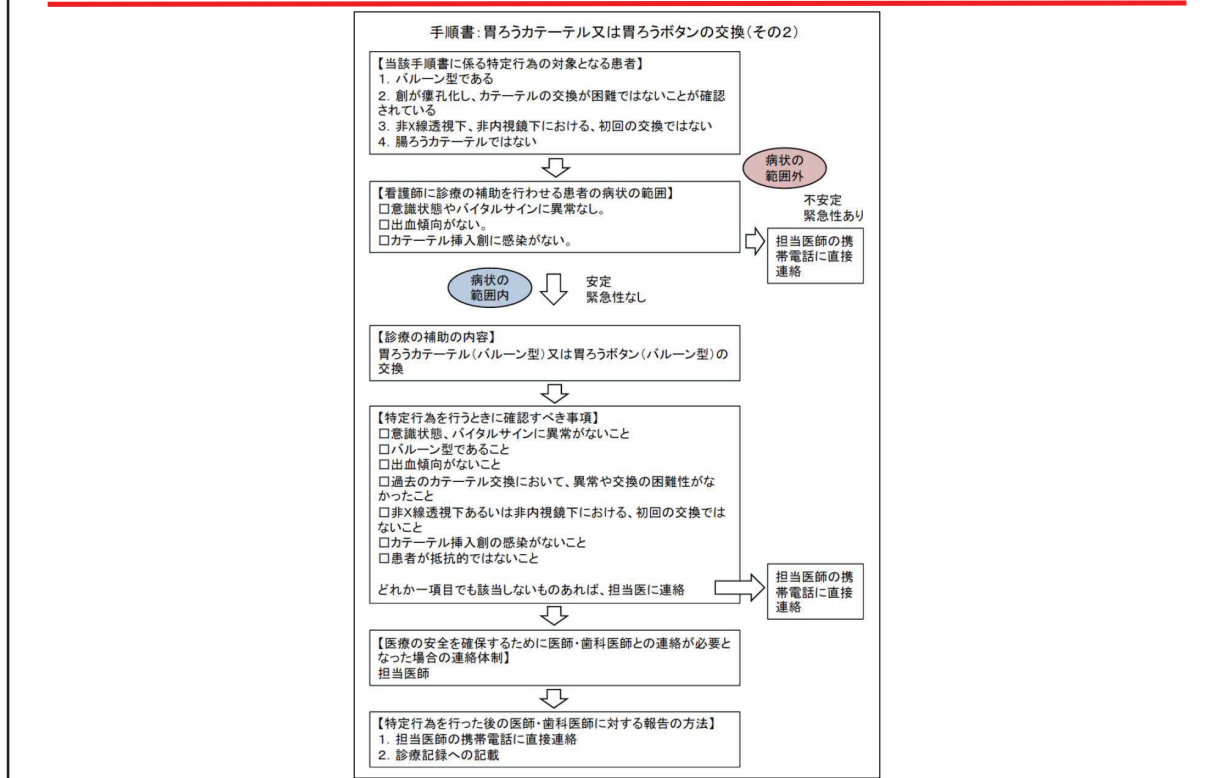


【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師の携帯電話に直接連絡
2. 診療記録への記載

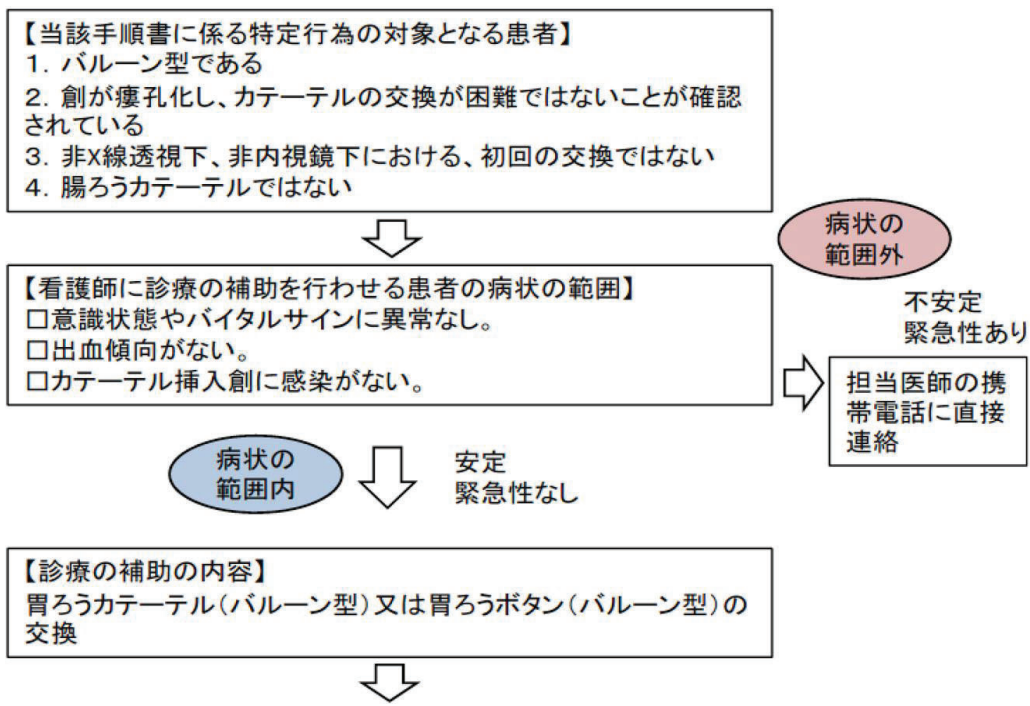
【特定行為を行う時に確認すべき事項】(補足)

手順書その2を確認

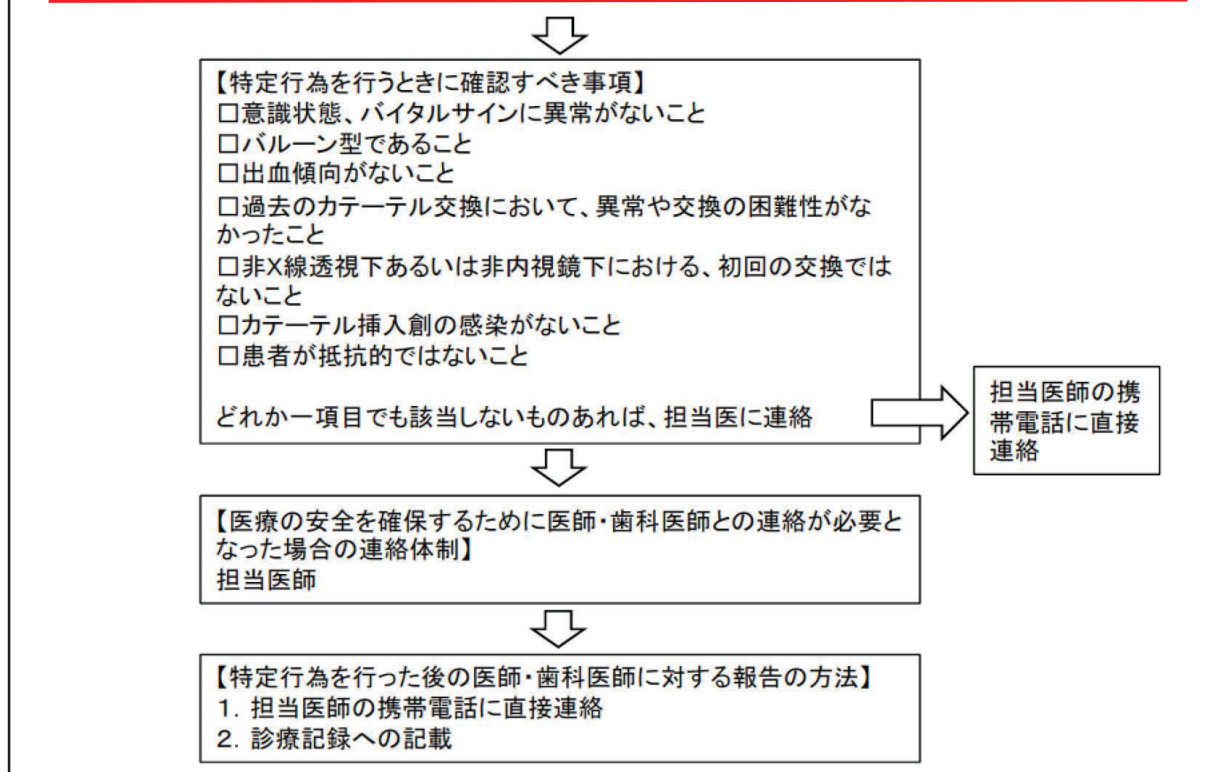


手順書その2を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その2)



手順書その2を確認



この講義のポイント

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する。
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ。

基本症例1

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で、

- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
- ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.
- ☐ 瘻孔から出血していない.
- ☐ 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).
- ☐ 内部ストッパーがバルーン型である.
- ☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.
- ☐ 血圧のコントロールが良好であること
- ☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

特定行為を行う時に確認すべき事項

- 意識レベル、バイタルサインに問題はない
- 血圧コントロールは良好
- 出血傾向はない
- 胃ろうボタンに縦の余裕があり、回転がスムーズである

手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換（その1）

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

- 既に交換を最低1回済ませている患者で、
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
 - ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
 - ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
- ☐ 瘻孔から出血していない。
- ☐ 胃瘻である（経食道瘻、経小腸瘻でない）。
- ☐ 内部ストッパーがバルーン型である。
- ☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
- ☐ 血圧のコントロールが良好であること
- ☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

基本症例1

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している
- Point: バルーン型胃ろうボタンの定期交換

OSCE 1 :
バルーン型胃ろうボタンの
定期交換を行ってください

解説

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうボタンの定期交換

基本症例2

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で、

- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
- ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.
- ☐ 瘻孔から出血していない.
- ☐ 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).
- ☐ 内部ストッパーがバルーン型である.
- ☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.
- ☐ 血圧のコントロールが良好であること
- ☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

特定行為を行う時に確認すべき事項

- ・ 意識レベル、バイタルサインに問題はない
- ・ 血圧コントロールは良好
- ・ 出血傾向はない
- ・ 胃ろうカテーテルに縦の余裕があり、回転がスムーズである

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で、
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
 ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

☐ 意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.
☐ 瘻孔から出血していない.
☐ 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).
☐ 内部ストッパーがバルーン型である.
☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.
☐ 血圧のコントロールが良好であること
☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

基本症例2

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうカテーテルの定期交換

手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換（その1）

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で、

- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
- ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
- ☐ 瘻孔から出血していない。
- ☐ 胃瘻である（経食道瘻、経小腸瘻でない）。
- ☐ 内部ストッパーがバルーン型である。
- ☐ 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
- ☐ 血圧のコントロールが良好であること
- ☐ 出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直
接連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

OSCE 2 :
バルーン型胃ろうカテーテル
の定期交換を行ってください

解説

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうカテーテルの定期交換

まとめ

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認した。